



平山郁夫さん代表作40点

飯田できょうから 流沙浄土変など展示

「平和への祈り」をテーマに、日本文化の源流を求めてシルクロードや仏教伝来の道歩いて、多くの作品を残し、ユネスコ親善大使などを務めて世界の文化財産の保護に貢献した平山郁夫さんの代表的作品を集めた作品展が30日から飯田市上郷別府の飯田産業センターで行われる。12月3日まで。入場無料。

「パルミラ遺跡を行く」「流沙浄土変」「写真左、「薬師寺」など代表作40点が展示される。画集や絵はがきなどが販売され、収益の一部は日本ユネスコ協会連盟の「東日本大震災子ども支援募金」に充てられる。問い合わせはほるぷエアアンドアイ(072・805・0595)。

【大澤孝二】

日本画家で文化勲章(一九三〇〜二〇〇九年)の版画家「シルクロード・仏教伝来・平和への祈り」が、飯田市上郷別府の南信州・飯田産業センターで開かれている。三日ま

平和への祈り感じて

飯田 平山郁夫さんの版画展

日本画家で文化勲章

で。 版画展の企画を手掛



シルクロードを描いた版画などが並ぶ作品展。飯田市の南信州・飯田産業センターで

ける「ほるぷエアアンドアイ」(大阪府枚方市)が主催する展示販売会。「平山ブルー」と呼ばれる印象的な青が使われた、夜のシルクロードを行く旅の行列や、薬師寺の壁画を基に制作した作品など約四十点を展示している。売り上げの一部は、日本ユネスコ協会連盟の「東日本大震災子ども支援募金」に充てられる。

平山さんは十五歳の時に広島市で被爆し、白血病などに苦しむ中「平和への祈り」をテーマにシルクロードを歩いて描いたり、ユネスコ親善大使を務めるなどして、多分野にわたり貢献してきた。

担当の市原清人さん(左)は「絵の世界のロマンと、中に込められた平和への思いを感じてほしい」と話している。

十四日から五日間にわたり、伊那市西春近のかんてんばホールでも開催予定。

(服部桃)